

かがみよき

平成24年6月1日発行

中央区教育広報誌

No. 126

ホームページ

<http://www.city.chuo.lg.jp/kyouikuiinkai>

第24回 平和の都市の楽しい集い
つなげよう みんなの絆! 広げよう 心の輪!
主催/中央区

つなげよう みんなの絆! 広げよう 心の輪!



平成24年3月15日 銀座プロッサム・ホールにて

昭和63年3月15日に永遠の平和を願う「平和都市宣言」を行った本区では、毎年「平和の都市の楽しい集い」を開催しています。24回目を迎える今年は、谷村新司さんのポピュラーコンサートでした。谷村さんは、「音で始まり 歌が始まる」をテーマに、コロナ禍さるる学びの場として、全国各地で「コロナの学校」を開校しています。

今回は区立個中学校合唱部23名の生徒たちがゲストで招かれ、flumpoolの「証」のほか、谷村さんと一緒に「いい日旅立ち」を熱唱。また、コンサートの途中で、谷村さんが子どもたちにインタビューする場面も。まちの良いところについて聞かれ、「個煮やもんじゃがおいしい」「私たちは地域の方々に支えられている」など、ふるさと 中央区の良さをアピールした子どもたちも、観客から大きな拍手が沸きました。アンコールでも再度登場し、谷村さんや谷村さんのお嬢さん詩織さんとともに、「サライ」を熱唱しました。会場は美しいハーモニーに満ち溢れ、とても暖かな空気に包まれてのエンディングとなりました。

東京都教育委員会より表彰されました

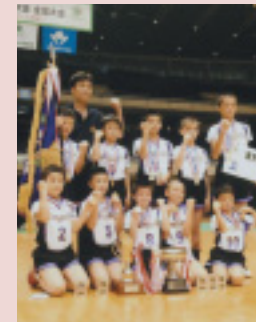
平成24年2月4日(土)、東京都庁で、東京都教育委員会児童・生徒等表彰式が行われ、中央区の小学生2名が昨年中優れた活動を行ったとして栄えある受賞となりました。



梶原くんは一番右

かじ わら ゆう き
梶原優希くん (佃島小学校)

平成23年8月に辰巳国際水泳場で開催された第34回全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会「男子10歳以下の部 200mリレー」で優勝。また、男子200mメドレーでは2位、200m個人メドレーでは3位と好成績を収めました。



武田くんは前列中央

たけ だ たいしゅう
武田大周くん (久松小学校)

ミカサ杯第29回東京都小学校バレーボール教育大会で準優勝の後、平成23年8月のファミリーマートカップ第31回全日本バレーボール小学生東京都大会および全国大会で優勝。武田くんは、セッターで活躍しました。

“地震時は しっかり落ち着き 身の安全”



東京消防庁「防火防災標語」に応募した晴海中学校一年の森川暢明くんの作品が、応募総数20,284点中の最優秀作品に輝きました。3月16日(金)、東京消防庁での表彰式後、ご両親や渡真利校長先生、臨港消防署の方々とともに矢田中央区長に受賞報告に訪れました。受賞は中央区では初めてであり、区長から「おめでとう。とても素晴らしい快挙です。」との言葉に、森川くんも「ありがとうございます。身の安全が一番大切です。」としっかり応えていました。なお、この標語は平成24年度から2年間東京消防庁のポスターなどで使用されます。

激走！第3回中学生「東京駅伝」大会

3月20日(火・祝)、都内の中学生(2年生)による、区市町村対抗第3回中学生「東京駅伝」大会が調布市の味の素スタジアム武蔵野の森公園の特設周回コースで開かれました。レースは男子は42.195kmを1チーム17名で、女子は30kmを1チーム16名。第一走者(距離2.195km)の男子は第二位、同じく第一走者の女子(距離1.5km)は第一位で快走しました。中央区選抜チームは強風の中、全員が懸命に走りきりました。仲間を信じ力を合わせて「襷」を繋ぐ大切さを学んだことでしょう。スタジアム内はもちろんのこと、沿道からも惜しみない声援が送られていました。



結果 男子 50チーム中 30位 2時間32分06秒
女子 50チーム中 36位 2時間04分53秒

父親目線の楽しい子育て

2月18日(土)、俳優 大沢樹生おおさわ みきおさんをお招きしての家庭教育講演会(中央区地域家庭教育推進協議会・中央区PTA連合会共催)が月島第一小学校で行われました。大沢さんは、「父親目線の楽しい子育て」と題して、障害をもつて生まれた息子さんを3年間シングルファザーとして育てた経験などについて話されました。会場には子育て中の方など187名が集まり、熱心に耳を傾けていました。

息子さん
が誕生した時のようすを、
お聞かせいただけますか。

僕は25歳で「光GENJI」とジャニーズ事務所を辞め、その2年後に、当時お付き合っていた女優さんとの間に息子を授かり結婚しました。彼女から妊娠を告げられた時は、ただひたすらに嬉しかったです。将来は息子自身が国籍を選べるように、彼女の実家がある米国で出産準備を進めていたところ「検診の結果、



胎児に異常があります。」と宣告され、小児医療が長けている日本での出産を決めました。残念ながらエコー検査には、男の子のシンボルと

一緒に「黒い影」が写っていました。通常はへそに向かって形成されるべき腹壁の一方が、先天的に欠損している「先天性腹壁破裂」という病気だと分かったのです。帝王切開で出産する予定でしたが想定外の自然分娩となり、息子は老廃物で赤紫色に腫れ上がった風船上の内臓を露出したまま、この世に誕生しました。衝撃的な対面でしたが「こんな状態で生きていけるのだろうか」と思う一方で「絶対こいつは大丈夫だ」という確信を抱いていました。その後、10ヶ月間も集中治療室に入っていた息子は、生死を分ける2度の大きな手術を経験します。唯一の救いは0歳児だったので、恐れや不安を味わわなかったことでしょう。僕たちは完全装備の無菌室の中で、管だらけの息子を初めて抱きました。

小学校との関わりについて
教えてください。

小学生になると「感音性難聴」が両耳に見つかり、授業中に声を上げたり徘徊したりする奇行が目立つようになりまます。情緒不安定や知的障害の可能性を疑い、数件の専門医に診てもらったのですが、結局のところ原因は不明でした。僕は息子のハ

ンディキャップを障害だと思っていたことがなかったので、ある時を境にそれを彼の「個性」だと思って接するようになった。担任の先生から彼の一日のようすをメールでいただいたり、校長先生や教育委員会の方々と一緒に指導方法について話し合うなど、学校関係者には大変にお世話になりました。

その後、息子が9歳の時に離婚することになり「僕が居ないとお父さんは駄目になる!」と息子自身が僕との生活を選んでくれたため、結果的にシングルファザーになりました(笑)。この出来事が新たな責任感と「この身に代えても息子を守っていい」という決意を生んだのです。

仕事、家事、育児を抱えた生活は想像以上に大変でしたが、年間行事を予めスケジュールに組み込み、運動会や学芸会、保護者会などには極力出席するようにしました。学童保育に行かせていたので、地域の絆や保護者の方たちとの交流も生まれました。おかげさまで親の目の届かないところでも、息子を気遣ってくれる方たちがおり大変助かりました。

そういった経験から、僕は一人で抱え込まずに困った時には「助けて」と周囲に甘えるようにしています。仕事で地方ロケがある場合など、友

人になった保護者の方が「預かるよ」「ご飯を食べさせておくれ」と申し出てくれたり、僕の両親が全面的にフォローしてくれたことに、今でも心から感謝をしています。

「父親目線の子育て」で、
教育方針などありますか。

母親の不在により父親としての威厳を示せた一方で、息子にとっては逃げ場がない環境になってしまったと思います。我が家には「嘘をつくな」「ごまかすな」「他人を傷つけるな」という三原則がありますが、息子は成長の過程において嘘をついては上手くかわし、友人を傷つける場面も間々ありました。また、親として先方のお宅へお詫びに伺い、土下座したこともありました。

僕の教育方針とは、この三原則を破ったら、時には体罰を加えてきちんと叱るということです。体罰についてはさまざま意見がありますが、僕は「痛みを痛みで教える」ことも必要だと考えています。もちろん子どもの状況を見極めながら、手加減することが前提です。僕が小学生的頃は悪いことをすると、学校の先生に1メートルもある定規でお尻を叩かれたり、大きな三角定規の角

でチョップを受けたりと随分と痛い思いをしました。しかし、どこも傷になっていませんし、ましてや先生を恨んだこともありませんでした。最も重要なことは、叱る折りの子どもに対する「深い愛情」と「思いやり」だと思います。

また、僕はひとりの人間としての自分の素の部分や喜怒哀楽を包み隠さず示すようにしています。それは息子に考える機会を与え、物事を自分自身で判断して欲しいと思うからです。

シングルファザーになって3年後に、新たな出会いがあり再婚しました。妻を迎えるにあたっては、息子との関係で多少不安も残りましたが、彼女の存在が加わったことでお互いに楽になった部分もあり、何事にもバランスが重要なのだと実感しています。子どもは親が幸せかどうかを敏感に感じ取りますから、ご夫婦はどうぞ円満に。時には子どもを預けて、デートなさるのも良いと思いますよ(笑)。

PTA活動について
お聞かせください。

PTAの役員についてはやはり責任を伴いますので、僕の職業では難

しく辞退させていただきました。その代わりPTA活動には、可能な限り全面的に協力する姿勢で携わりました。例えば、通学路に置く通行止めの三角ボールの設置、腕章を付けての地域パトロールなど当番は全て担当しました。正直言うと「なんでこんな事をやらなくてはいけないのか」と切なくなる事もありましたが、全ては息子に返ってくると思い積極的に参加しました。振り返れば、学童保育のキャンプ委員などを務めたのも印象に残っています。

子育てが面白いのは子どもと共に親も成長することとで、その当時は苦労だと感じて、数年経てば楽しい思い出や笑い話になる場所ですね。活動を通して親しくなった保護者の方と定期的に居酒屋で飲み会を開催し、二次会ではカラオケで光GENJIのヒット曲をみんなで熱唱するなど、すっかり仲が良くなり今でもその関係が続いています(笑)。

PTAは共に活動し情報を共有するなかで、親睦が生まれ地域で子どもを育て見守る意識が芽生



えます。通常は女性が多いPTAですが、地域で活躍している男性もいらつしやるので、思い切つて参加してみると新鮮な出会いや職場では得られないコミュニケーションが生まれると思います。ですから、お父さんも日々仕事で忙しいですが、ご自身や子どものためにもぜひPTA活動に参加していただくことをお勧めします。

●主な新規・充実事業

「学習指導の充実と学力の向上」

- ◆**授業力の向上支援 726万円**
本区独自の研究奨励校制度を活用し「授業力向上モデル研究校」を指定することにより、「学習規律のあるクラスづくり」「分かりやすい授業」など、教員の授業力向上をテーマとした研究を推進します。
また、在籍校のほか他校の若手教員等に対しても指導・助言の役割を担う優れた指導力を有する教員を「メンタティーチャー」として育成するほか、昨年度認定したメンタティーチャーによる教員への研修なども行います。なお、平成24年度は、メンタティーチャーの活動を支援するため、その教員の在籍校に新たにメンタティーチャー補佐員を配置します。

- ◆**学習意欲の向上と学習習慣の定着 1,869万円**
小学校4学年から中学校3学年において実施する本区独自の学習力サポートテストの結果を分析した個人別の学習診断カルテを活用し、子どもたちの学習意欲と学力向上に向けたきめ細かな指導の充実を図ります。なお、平成24年度からは、小学校5学年と中学校2学年については東京都が実施する学力調査の結果(個人票)を活用することとし、学習力サポートテストは小学校4・6学年および中学校1・3学年で行います。
また、学習力サポートテストの結果をもとに、教科ごとの理解度に応じた「自主学習支援テキスト」を独自に作成し、それぞれの学習状況に応じた基礎・基本的な学習内容の定着・向上と家庭での学習習慣の定着を図ります。平成24年度は、小学生版テキスト(昨年度作成)に続き、中学生版テキストを作成します。

- ◆**中学校の学力向上対策 7,479万円**
習熟度別指導や個別指導等の充実を図るため、国語・数学・英語の非常勤講師を配置し中学校の全学級で少人数指導を実施します。なお、各校の実情に応じて、理科・社会についても少人数指導を行います。
また、この非常勤講師を活用し、基礎・基本の習得から発展的な応用編まで習熟度別にコース設定した夏季集中講座(国語・社会・数学・理科・英語)を実施するほか、平成24年度は新たに夏季休業期間中以外の土曜日などにも補習講座を実施するなど、生徒の学力に応じたきめ細かな学習支援を行います。

さらに、新学習指導要領の全面実施に対応した授業時間数の確保と確かな学力の定着のため、土曜授業(学校公開)を年間10回に拡大します。

- ◆**小学校の学力向上対策 6,539万円**
基礎的学力の積み重ねが重視される算数について、非常勤講師を全小学校に配置し、習熟度別指導や個別指導を行います。また、理科授業の充実および活性化を図るため、実験や観察等における教員の支援を行う理科支援員を配置します。
なお、平成24年度は、これまで土曜日を中心に実施していた補習指導を発展させ、放課後や土曜日、夏季休業期間など、より各校の実態に応じた効率的な補習学習を行い、基礎・基本的な学習内容の確実な定着を図ります。

「良好な教育環境の整備」

- ◆**小学校・幼稚園の改築 55億7,590万円**
築80年を経過した学校施設の老朽化への対応とともに、教室や体育館の拡充など施設機能の更新を行い、新しい時代に即した教育環境の整備や良好な学習空間の確保を図るため、小学校・幼稚園の改築を行います。
なお、中央小学校・幼稚園および明石小学校・幼稚園は、平成24年9月に開設予定であり、明正小学校・幼稚園は、既存校・園の解体および新校・園舎の建設工事に着手します。

- ◆**校舎等の改修 13億933万円**
経年劣化への対応や施設・設備の機能充実・長寿命化を図るため、予防を重視した保全・改修を計画的に実施します。なお、設備改修に際しては省エネルギータイプの機器等を採用します。

- ◆**学校施設整備調査 300万円**
児童・生徒および園児数の増加や35人学級対応等に伴う小・中学校の普通教室および幼稚園の保育室の確保と、豊海小学校・幼稚園の改築の方向性などについての基礎的な調査を行います。

- ◆**エコスクールの推進 3,253万円**
環境負荷の低減を図るため、校舎等の改築や予防保全・改修にあわせて、屋上緑化や壁面緑化、芝生化、学校ビオトープなどの緑化を推進するなど、環境に配慮した学校施設の整備を図ります。
平成24年度は、久松小学校に理科や環境学習として活用できる屋上ビオトープを整備するほか、銀座中学校では菜園や花壇づくりなど子どもたちの実習教材として活用できるスペースのほか、全国的にもめずらしい養蜂スペースも設けた屋上緑化を予定しています。

- ◆**子どもの居場所「プレディ」 1億7,868万円**
子どもたちの放課後の安全な居場所づくりと健全な育成を図るため、学校施設を活用した子どもの居場所「プレディ」を推進します。平成24年度は新たに久松小学校で開設します。

「安全教育の推進」

- ◆**中学校防災ヘルメットの整備 165万円**
大地震等発生後、中学校については原則として教職員の安全確認・指示のもと帰宅することとしていますが、余震対応も含め帰宅途中の安全を確保するため、防災ヘルメットを区立中学校全校に配備します。このヘルメットは学校での実践的な避難訓練等の防災教育の中でも活用し、災害時のボランティア活動など地域の安全に貢献できる中学生の育成を図ります。
- ◆**学校危機管理マニュアルの修正 一 万円**
東日本大震災の教訓を踏まえ、区の地域防災計画の修正にあわせて学校危機管理マニュアルを修正します。

1 平成24年度 中央区教育委員会 教育目標・基本方針

教育目標

中央区教育委員会は、次代を担う子どもたちが、心身ともに健康で、勤労と責任を重んじ、広く国際社会において信頼と尊敬を得られる人間性豊かなひととして成長することを目指します。
また、区民の生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動を支援します。
そのため「教育目標」を次のとおり定めます。

- 子どもたちが希望に満ち、自らの未来を切り拓いていけるように
・思いやりの心、健康な体、強い意志を持つひと
・すすんで学び、考え、行動するひと
・ひとの役に立つことを積極的に行うひとの育成に向けた教育を推進します。
- 子どものころから生涯を通じて、文化やスポーツなどの活動に親しむことができるよう、関係機関等と連携して生涯学習を推進します。

基本方針

「“生きる力”の育成」と「“生涯学習”の推進」を目指す中央区教育委員会の「教育目標」の実現に向け、次の基本方針に基づき積極的に教育行政を展開します。

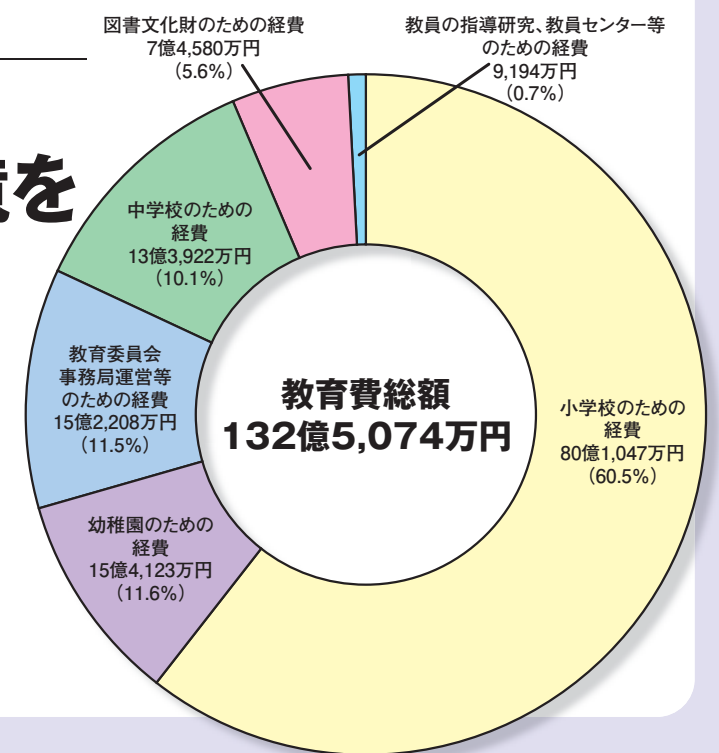
- 基本方針1 豊かな心、温かな人間関係をはぐくむ教育の推進
- 基本方針2 個性や能力を伸ばす教育の推進
- 基本方針3 健康な体づくりの推進
- 基本方針4 文化・スポーツなどの生涯学習活動への支援の充実

- 基本方針1 豊かな心、温かな人間関係をはぐくむ教育の推進**
主要施策(1) 人権教育の推進
〃 (2) 道徳教育の推進
〃 (3) いじめや不登校等への対応
〃 (4) 良好な教育環境の推進
- 基本方針2 個性や能力を伸ばす教育の推進**
主要施策(1) 「生きる力」の育成と魅力ある学校づくり
〃 (2) 「確かな学力」の定着・向上
〃 (3) 生活指導・進路指導の充実
〃 (4) 安全教育の推進
〃 (5) 情報教育・国際理解教育・環境教育の推進
- 基本方針3 健康な体づくりの推進**
主要施策(1) 学校における健康づくりの推進
〃 (2) 学校における体育・スポーツ活動の充実
- 基本方針4 文化・スポーツなどの生涯学習活動への支援の充実**
主要施策(1) 図書館サービスの充実
〃 (2) 地域文化の保存・継承
〃 (3) スポーツ・レクリエーション活動への支援

2 平成24年度 教育予算のあらまし

学力の向上と質の高い教育環境をめざします

本年度の教育予算の総額は、132億5,074万円で、中央区全体予算(一般会計総額)の16.8%を占めており、前年度と比較すると、小学校・幼稚園の改築費や校舎等の改修の増などにより、36億8,122万円(38.5%)の大きな伸びとなっています。



こんにちは、学校給食です

●学校給食費の内容

本年度の学校給食費は昨年度と同額で、月額は次のとおりです。

小学校1・2年生	3,460円
小学校3・4年生	3,660円
小学校5・6年生	3,870円
中学校	4,220円

給食費は、食材料の購入にあてられており、人件費や光熱水費等は、区が負担しています。

保護者負担額を軽減しています

当面の間区が食材料費への補助を行うこととし、給食費を23年度と同額に据え置くとともに、米飯給食用のお米の補助を行っています。

●学校給食会計予算

小学校は、共同献立をもとに全校分の給食用材料を一括購入しており、給食費等の収支は「中央区学校給食会計」で処理しています。本年度の予算は、2月10日開催の学校給食

管理委員会総会で、別表のとおり決定されました。

中学校は、単独校方式により、給食会計の管理は学校単位で行っています。

また、福島第一原子力発電所の事故の影響により出荷制限等の対象となっている食材は使用せず、食材確保が困難な場合には、栄養価に配慮しながら献立を変更して対応しています。今後とも厚生労働省をはじめ食材産地となる県や市町村の検査結果など、いち早い情報の取得に努め、食材購入時には食材の産地を確認するなど安全な食材を使用していきます。

●ふれあい給食

ふれあい給食は、小学校の給食に地域の方々をお招きし、児童との交流を図りながらふれあいを深め、より開かれた地域に根ざした学校を目指して行われています。児童の祖父母や地域の高齢の方、日頃お世話になっている方、児童の保護者など、さまざまな方をご招待し、子どもたちがお招きした方の名札づくりや会場の飾りつけをしたり、食後のゲームを考えるなど、和やかな会食に向け工夫をこらしています。

問合せ先 学務課保健給食係 ☎(3546)5516

柏学園の利用が再開されました

区立柏学園は、昨年11月2日から利用を中止し、除染工事に取り組んでまいりました。

その結果、雑木林の斜面部を除くすべての箇所において安全性を確認したことから、4月16日に利用を再開いたしました。

除染工事後においても国の基準を超えた雑木林の斜面部については、園児・児童・生徒が立ち入らないよう新たに柵を設けるなどの安全対策を講じました。

また、芋畑の土壌についても放射能検査を行い安全性を確認いたしました。

再開後も毎週、敷地内での放射線量測定を行い、ホームページ等で公表し、新たな事態が生じた場合には、速やかに適切な対応をしてまいります。



問合せ先 庶務課庶務係 ☎(3546)5503

教育委員の主な活動状況

- ◆第2回定例会および研修会（平成24年2月8日）
- ◆教育委員と学校評議員との意見交換会（第3回まちかど教育委員会）
＊（平成24年2月15日）月島幼稚園
- ◆佃中学校学校研究発表会（平成24年2月17日）
- ◆平和の都市の楽しい集い（平成24年3月15日）
＊銀座プロッサム
- ◆区立中学校卒業式（平成24年3月19日）
- ◆東京駅伝（平成24年3月20日）味の素スタジアム
- ◆区立小学校卒業式（平成24年3月22日）
- ◆第3回定例会および研修会（平成24年3月30日）
- ◆区立小学校入学式（平成24年4月6日）
- ◆区立中学校入学式（平成24年4月9日）
- ◆青少年委員感謝状贈呈式、委嘱状伝達式（平成24年4月10日）
- ◆第4回定例会および研修会（平成24年4月11日）
柏学園視察
- ◆校長・園長会（平成24年4月12日）
- ◆平成24年度教育施策連絡会（平成24年4月13日）

明正小学校・同幼稚園 新校・園舎建設に 本年秋から着手します

平成23年3月以来、「明正小学校改築準備協議会」において、より良い学校づくりの構想を検討してまいりました。

協議会での意見・要望等を反映させた、「明正小学校等複合施設改築基本計画」に基づき設計を終え、いよいよ9月から改築工事にとりかかります。

協議会に御協力いただいたPTA、同窓会・地域の皆さまありがとうございました。

新校舎概要

構造・規模 鉄筋コンクリート造 地上6階 地下1階
延床面積 約11,900㎡
建築面積 約2,400㎡

新校舎のイメージ図

（現校舎の持つ優雅な曲面と水平ラインを継承したデザイン）



特徴

- ①老朽化が進んでいた「新川児童館」を併設します。（5・6階部分の一部）
- ②体育館を3階、プールを屋上とし、校庭を現在以上に広くします。
- ③防災倉庫の配置上の工夫や緊急車両通路の確保、非常用電源設備など防災機能を充実します。
- ④太陽光パネルの設置や屋上緑化、壁面緑化などの環境面も配慮します。
- ⑤エレベーターや車イス対応、トイレなどバリアフリー対応施設とします。

今後のスケジュール

平成24年度 夏休中に中央小学校・幼稚園へ移転
2学期以降、旧校舎解体・建設工事着手
平成25年度 建設工事
平成26年度 完成（7月）
（改築工事期間中は、中央小学校・幼稚園に同居をして、授業を行います。）

中央小学校・同幼稚園 および明石小学校・同幼稚園の 新校・園舎がもうすぐ完成します

新校・園舎の建設工事は、地域やPTAの方々のご理解・ご協力により、両校・園ともに7月末の完成に向けて順調に進んでおり、完成まで残り1か月余りとなりました。最後まで無事故で、しっかりとした工事を行ってまいりますので、今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

問合せ先 副参事 ☎(3546)5523
庶務課学校施設整備主査 ☎(3546)5520

見て、聞いて、感じる… 第6回まちかど教育委員会開催

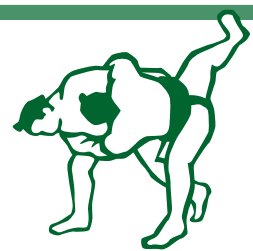
2月15日（水）、教育委員と学校評議員との意見交換会（まちかど教育委員会）を開催しました。今回は月島幼稚園です。まず、園から佃島小学校との交流や園内での雪遊びなど、3学期の活動状況について報告がありました。続いて園の平成23年度重点目標「体づくり健康づくりの推進」や「遊びを実現していく力、人とかかわる力をはぐくむ」に沿った取り組みの成果や保護者アンケートから見てきた課題などについて説明がありました。

その後の意見交換会では、園児が増える中、子どもたちとの接し方や先生と地域と保護者の相互協力などについて質問や意見が活

発に交わされ、まちかど教育委員会の大切さを改めて確認しました。



月島幼稚園にて



体から溢れる表現の世界 ～「武道・ダンス」の授業



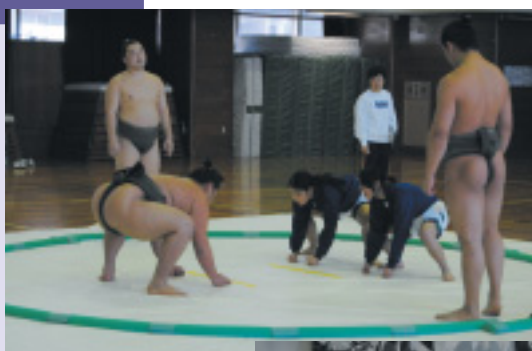
今年度から全面実施となった新学習指導要領では、中学校体育で「武道・ダンス」が男女ともに必修となりました。本区ではこれに先立ち平成22年度から、安全で効果的な指導を行うため専門の外部指導員を活用し、柔道や相撲、ダンスの授業を行ってきました。今回は、4中学校のうち佃中学校と晴海中学校での様子を紹介します。

佃中学校

区内唯一の相撲部屋「荒汐部屋」の力士4名を講師に、男女別で相撲の授業が行われました。

まず、力士が毎日朝稽古の前に300回程度行うという「腰割り」を体験。次に3人の力士の模範演技を見ながら、足を交互に高く上げて力強く踏みおろす「四股」や「股割り」の指導を受けた後、女子生徒は2名で、男子生徒は1名で力士とのぶつかり稽古に挑みました。武道の基本は「礼に始まり礼に終わる」。真剣勝負の中、しっかりと相手に敬意を払うことも教わりました。

女子は2人で力を合わせます



男子ガンバレ!

武道

ボウリングをイメージして



ストライクとれたかな

晴海中学校

東海大学教授 中村なおみ先生とアシスタント2名を講師に「創作ダンス」の授業が行われました。

今回は、好きなスポーツの場面の動きを一つ絞り、それを表現するために必要な前後の場面を付け足すことで、あるスポーツの「感動の瞬間」をチームで表現。最初は恥ずかしがっていた男子生徒も、先生のアドバイスをダイナミックなダンスに! 皆で浮かんだイメージを共有し、一つひとつの動きに“スローモーション”や“繰り返し”の動作を取り入れるなどの創意工夫で、一つの「作品」を創り上げていました。

ダンス

「中央区子ども環境サミット2012」を7月に開催

子どもたちが地球規模の視野で考え、身近なところから具体的に行動できるよう「環境教育」のより一層の充実・進展をめざし、教育委員会と区が共催で「中央区子ども環境サミット2012」を開催します。ぜひ足をお運びいただき、「環境」についていっしょに考えてみませんか。



日時

7月14日(土) 午前9時～

会場

中央会館「銀座ブロッサム」
ホール・エントランス

※観覧ご希望の方は、当日直接会場へお越しください。

主な内容

第一部

専門講師による特別授業

- 宇宙から見える地球とその環境(JAXA)
- 極地から見た地球環境(国立極地研究所)

第二部

区立中学校4校と日本橋女学館中学校の生徒代表(2年生)による
環境をテーマとしたプレゼンテーション

第三部

全体講評

問合せ先

庶務課庶務係

☎(3546)5503

子ども図書館員のお知らせ

区立図書館では、夏休みに「子ども図書館員」を各図書館で実施します。子どもたちが図書館の仕事(ボランティア)を通じて本に興味を持ち、図書館をより身近に感じてもらえればと願っています。

京橋図書館

7月25日(水)

(午前の部)午前9時から正午

(午後の部)午後1時20分から4時20分

日本橋図書館

8月1日(水)

(午前の部)午前9時から正午

(午後の部)午後1時20分から4時20分

月島図書館

8月8日(水)

(午前の部)午前9時から正午

(午後の部)午後1時20分から4時20分

内容

カウンターでの貸出・返却、図書館の書棚整理、本の装丁など

対象

小学校4年生から6年生

定員

各回12名

応募方法

7月上旬に各小学校に応募用紙を配布します。また、「区のお知らせ 中央」や図書館ホームページに詳細を掲載しますので、ご覧ください。

問合せ先

京橋図書館

☎(3543)9025

「中学校科学教室・ロボットを創ろう」 合同講演会聴講者募集のお知らせ

中央区立教育センターでは、区内中学校生徒を対象とした中学校科学教室・ロボットを創ろうの初回授業として合同講演会を実施します。この講演は各教室参加生徒のほか、どなたでもご聴講いただけます。最新のロボット事情を知るまたとないチャンスです。ぜひ、お越しください。

対象

区内中学校に在籍する生徒・ご家族の方など(先着70名)

講師

早稲田大学創造理工学部
准教授 岩田 浩康氏

内容

リハビリ支援ロボットに関する講演(予定)

日時

6月30日(土) 午後2時～午後4時

場所

教育センター5階 視聴覚ホール

※申し込みは不要です。

当日、教育センターへ直接お越しください。

問合せ先

指導室事業係

☎(3546)6757

私たちはどこからきたのか? ～宇宙探査の歩みの中から～

2月

常盤小の講堂がにぎやかだ。覗いてみると、子どもたちが巨大な黒い紙に「芸術は爆発だ!」と絵を描いている。勢いあまって手や足に絵具を付けたり、髪の毛に付けている子もいる。先生もバケツやモップを片手に大わらわ……。聞けば、宇宙をイメージした絵だそう。そういわれてみれば確かに大きな太陽と青い地球もある。これは……?

2月23日、常盤小学校で全校児童を対象に、日本宇宙フォーラムの主任研究員 山中勉(やまなかつとむ)さんを招いて「宇宙図づくりとワークショップ」が開かれた。この巨大画は、「宇宙を探検する」をテーマとした「宇宙図」である。なんとこの作品はDVDに収録され、今年の夏にはロケットで国際宇宙ステーション(ISS)・「きぼう」日本実験棟に運ばれ保管されるという。何だか楽しくなってきた!

山中さんの話は実に魅力的。「〇〇さんのお母さんのお母さん、そのまたお母さんの……お母さんはどうやらアフリカで生まれたらしい。△△さんも同じで、校長先生も同じです。人をつくる細胞の遺伝子の研究から、みんな一人のお母さん(ミトコンドリア・イブ)から生まれたことがわかりました。ですから皆さんは生まれながらに友達なんです。」「生命の誕生は約40億年前、そして地球の誕生は約46億年前です。皆さんが知っている太陽の一つ前の太陽がはじけて、

今の太陽や私たちの地球が誕生したと考えられています。」「ハッブル博士は星と星の間が広がっていることから、宇宙は膨張している。だとしたら、宇宙は元は一つの点から広がったのではないかということを見つめました。それは約137億年前の出来事(ビッグバン)、つまり宇宙全体は皆“共通の誕生日”をもっていることになります。」などなど……

そして、最後に印象的な一言。「地球と似た星も見つかっています。それは、もし携帯電話がつながるとしたら、“こんにちは”が十数年かかって相手に届き、さらにその返事が十数年かかって戻ってくるくらいの距離にある星かもしれません。今では、これまでわからなかったことがどんどんわかるようになってきました。皆さんは“そういう時代に生きている”ということをお忘れなでください。」子どもたちは、目を輝かせて山中さんの話に聞き入っていた。常盤っ子の夢を乗せた補給ロケット「このとり」が地球を旅立つ日が待たれる!!



地域を知る、地域に溶け込む

1月

かるたで学ぼう お江戸日本橋

1月21日(土)、第一回目となる「日本橋かるた大会」が常盤小学校の講堂で開催された。

日本橋かるたは、全国から寄せられた日本橋にまつわる4,114句から厳選されたいろは47句が集められている。

大会には、城東・常盤・日本橋・有馬・久松・阪本の各小学校の3～6年生42人が参加し、トーナメント方式でチームに分かれて対戦した。子どもたちは、会場に響きわたる詠み句に神経を集中し、真剣な表情で絵札に手を伸ばしていた。



2月

めざせ!ジュニアマイスター

2月12日(日)、コートヤード・マリオット銀座東武ホテルで第一回「中央区ジュニア観光検定」が行われ、区内の4中学校と日本橋女学館の中から69名の生徒が受験した。中学生対象であるため、試験問題は中学校社会科副読本「伝統と文化の街」からも多く出題されたという。検定は、96点以上がお江戸中央区「マイスター」、86点以上は「博士」、76点以上は「通」と3段階に分かれている。「マイスター」をめざして、子どもたちは熱心に問題に取り組んでいた。



3月

甦る赤レンガ駅舎をまじかに体験

3月5日(月)、城東小学校4・5・6年生が「東京駅丸の内駅舎保存・復原工事の見学会」に招かれた。「明治41年に着工し、大正3年に開業した東京駅は、関東大震災ではビクともしませんでした。東京大空襲で屋根等を焼失しました。終戦後復興工事に着手し、3階建ての駅舎は2階建ての駅舎となりました。ですから皆さんが慣れ親しんだ三角屋根の東京駅は仮復旧の状態の駅舎なんです。」と東京駅の歴史を学習した後、ヘルメットに安全チョッキ、軍手とマスクのいでたちで工事現場にいざ出発。焼け跡の残るレンガの壁や、復原した新ドーム内の干支の彫刻など、工事中の「今」でしかまじかに見ることのできない貴重な体験をした。



かがやき探検隊がゆく

中央区のよいこと! 見とこ! 知っとこ!

探検レポート No.3



中央区内のさまざまな教育活動をご存知ですか? 各校では、専門家や地域の方々などをゲストティーチャとして招く特色のある学習が数多く行われています。そこでは「教育の中央区」ならではの学びの姿を見ることができます。教育広報誌「かがやき」探検隊が現場で見た“いきいきと学ぶ子どもたちのようす”をお届けします。

2月

久松小学校

アスリートからのメッセージ

今、探検隊の目の前には、バレーボールとビーチバレーでアトランタ、シドニー、北京のオリンピック3大会出場を実現した一流アスリート佐伯美香(さえきみか)さんがいる。そして「夢を叶えるために必要なこと」について、経験を交えながら子どもたちに話をしている。「私一人の努力でオリンピックに3回も出られたと思いますか? それは違います。君たちの練習着は誰が洗濯してくれている? 試合時のお弁当は誰が作ってくれる? 周囲の支えがあるから好きなスポーツに打ち込めるのです。ですから、周りの方への感謝の気持ちをもちプレーしてください。」やはり「本物」の言葉にはとても説得力がある!

2月23日(木)、久松小学校で5・6年生を対象に佐伯さんの講演とバレーボール体験会が開かれた。応援者に対する配慮の必要性のほか、目標の立て方、それを達成するためのモチベーション、挑戦していくこ

との大切さなどを熱く話してくださった。6年生が技術指導を受けた後、全員で佐伯さんと「レシーブラリー」を行った。パスをつなげる回数を設定し、それを目指してボールに食らいつく子どもたち。体育館には、いつしか大きなかけ声が響いていた。

自分を知り、その時にあった目標をたて、日々練習を積み重ねていく。できなかったことが少しずつできるようになり、それが自信につながる。子どもたちは全身で佐伯さんからのメッセージを受け取ったことだろう!

トスの指導中



2月

阪本小学校

これぞ阪本金融教育「コレド阪本Ⅶ」

「いらっしゃいませ～可愛い小物入れはいかがですか?」と子どもたちの声。

教室に入ってみると、そこには綺麗に包装された小物入れのほか、手作りのブローチや香りのするキャンドル、ストローコプターといった面白いネーミングのアイデア商品が陳列されており、子ども店員がお客(保護者や児童)に商品の説明や販売を行っていた。

教室は、子ども店員が切盛りする立派な“お店”に変身していた。

2月18日(土)、阪本小学校で金融教育「コレド阪本Ⅶ」が行われた。この学習は、3～6年生がグループで、10,000 sakamo(模擬通貨)を資金に、出店計画から商品の企画・製作・販売までを行い、金融および流通のしくみなどを学ぶことを目的としている。教室内の位置によって家賃相場が決まり、各店舗では、可愛いだけではなく実用性のある物を用意し、タイムセールや色々詰めた「オールセット」など売り方も工夫。お客は限られた紙幣で商品を吟味し、本当に自分にとって必

要な物を買う。探検隊も商店街を回って子ども店員と会話しながら慎重に購入した。

この学習の前に、東京証券取引所の方から経済の基礎的なしくみを教えていただいたり、近隣のホテルから接客の仕方を、区内のデパートに商品の陳列方法をご指導いただくなど、そこで働くことの素晴らしさやお店の見えない工夫や努力を学んだという。

楽しいから「もう一歩踏み込んだ授業」で実業の深さを子どもたちにもしっかりと刻まれたことだろう。



いらっしゃいませ～